

STEP **2**

1ヶ月で使える金額を把握しよう!

[STEP1] で貯蓄を始めたら、1ヶ月どのくらい自由に使える金額があるかチェック! 住居費(住宅ローン)や光熱・水道費等の固定費の金額がわかったら、残りの金額で食費や日用品、教育費などに回す金額を算出してみましょう。

実際に計算してみてチェック!

項目	金額(例)
月収(手取り)	300,000 円
積立	30,000 円
支出	
固定費	
住居費	75,000 円
光熱・水道費	18,000 円
電話・通信費	6,000 円
携帯電話料金	11,000 円
新聞代	3,000 円
生命保険料	40,000 円
自由に使えるお金	117,000 円

(支出額は「平成 22 年暮らしと金融なんでもデータ」掲載の「家計の収支」と「金融資産と負債」項目を基に、ミーツ編集部が独自に作成したイメージです)

月収(手取り)の10~15%が貯蓄の目安!
実家暮らしは20~30%を目安に積立してみよう!

参考にしてみてください! ※「夫婦2人+小学生までの子供2人」が目安です

項目	支出割合目安	項目	支出割合目安
食費	15%	教育費	10%
日用品・衣料	5%	小遣い	10%

ポイント

お金が足りない場合は、日々の食費や交際費から削りがち。でも、大きな効果が得られるのは固定費をカットする方法なので、携帯電話プランの見直しなどを考えてみましょう。

なるほど!



★静岡ろうきんのホームページでは、将来設計に向けてライフシミュレーションができます。ぜひご利用ください。

ライフイベントで考える積立プラン

マイカーの購入資金や教育資金などライフイベントに備えて貯蓄は大切! 目的を明確にして、月1万円からでも積立を始めよう。



3年後には自分の車持ちたいな。

毎月の積立額	ボーナスの積立額
1万円	5万円
2万円	5万円
3万円	5万円



3年後
66万円+利息
102万円+利息
138万円+利息



子供名義の通帳を作って教育資金を貯めたいな。

毎月の積立額
小学校 3万円
中学校 1.5万円
高校 1万円



小学校1年生から12年間
左記の金額で積立すると

トータルで **306万円**+利息

子供が大きくなるにつれ、出費も多くなります。中学・高校に入るときに積立額を減らしても積立は継続していきましょう。

教育資金は早めの貯蓄開始をおすすめします。

STEP **3**

メインバンクとして〈ろうきん〉を活用しよう!

◆お引出し手数料かからず貯蓄力もUP!

生活費を出し入れする口座(メインバンク)を決めてから、公共料金やクレジットカードの引き落としまで一つの口座に集中すれば、お金の出し入れがわかり管理しやすくなります。〈ろうきん〉のATMならいつでもお引き出し手数料は0円なのでオトクです。もちろん、土・日の利用でも、お引き出し手数料0円です。

手数料は0円!



◆家計簿がわりに通帳を使って使いすぎをチェック!

家計簿をつけるのは大変という方も、通帳ならカンタン!月に1回使いすぎてないかチェックするだけでも違います。残高が前月と同じ日と比べて少なければ、今月は使いすぎなので要チェック!節約を心がけましょう。インターネットバンキングでも、残高照会、取引履歴照会でチェック可能!

節約の第一歩は通帳のチェックから!



まとめ

- 貯蓄にまわす金額は、無理のない金額からスタートしましょう。
- 自分の消費の傾向やクセをつかみ、定期的に振り返る(見直す)習慣をつくりましょう。
- ボーナスや臨時収入が入ったときは、貯蓄を増やすチャンス!貯めどきを逃さず、生活を安定させる資金ができたなら国債や投資信託等で「運用する」ことも考えてみましょう。